

指定管理者評価表

施設名	行田市総合福祉会館やすらぎの里
施設所管課	地域共生社会推進課

I プロセス評価

1 施設、設備の維持管理への取組み

評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価		2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など	評価点	評価の理由
① 建物、施設設備等の保守点検は適切に行われていたか。	3	適切に実施し、記録を保管した。 保守点検不備による事故 0件	3	適切に実施され、記録が保管された。 保守点検不備による事故は0件であった。
② 清掃等快適な施設利用のための取組みがなされていたか。	3	清掃業務を委託し、適切に監督した。（委託先（株）サンワックス）	3	清掃業務を委託により実施し、適切に監督していた。また感染症対策により消毒作業も適宜行っていた。
③ 修繕箇所の把握及び修繕は適切に行われていたか。	3	福祉団体活動支援室雨漏り、館内消防設備、介助浴槽・ジャグジー給湯補給水ユニット、雨水ろ過装置を修繕した。	3	修繕箇所の把握及び修繕が適切に行われた。 50万円未満の軽微な修繕においても指定管理者の費用と責任において適切に修繕が行われた。
④ 備品の管理状況は適切であったか。	3	適切に管理した。 故意又は過失による備品の既存滅失 0件 備品点検結果報告書等契約検査課に提出済	3	備品の管理が適切に行われていた。 故意又は過失による備品の既存滅失 0件
	12	2次評価合計	12	

2 サービス向上への取組み

評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価		2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など	評価点	評価の理由
① 事業計画を作成し、その計画に沿って実施したか。	3	いきいきサロン、ボランティアセンター事業、児童発達支援事業、居宅介護・重度訪問介護事業、機能回復訓練事業、社会自立各種教室事業、心身障害児事業を実施した。	4	作成された事業計画に基づき、事業が実施された。
② 市民及びNPO等と連携・協働し、施設を活用していたか。	3	・市内ボランティア及び地域安心ふれあい事業（いきいき・元気サポーター）の活動拠点として施設を活用した。 ・利用者と合同で消防訓練を実施した。	4	市民及びNPOなどの各種団体と連携・協働し、施設を活用していた。
③ 適切に職員が配置されていたか。	3	事業計画に則り適切に職員を配置した。	3	適切に職員数が配置されていた。
④ 窓口等での接客態度は、利用者に不快な思いをさせることなく、適切であったか。	3	適切に対応した。 未解決苦情等数 0件	3	適切に対応していた。 未解決苦情等数 0件
⑤ 利用者の意見、苦情、要望等を抽出するための仕組み作りがされていたか。	3	・ホームページでの問い合わせページの設定。 ・利用者アンケート実施。 ・各種教室やイベント等実施後にアンケートを実施。	3	ホームページでの問い合わせページの設定や各種アンケートを実施していた。
⑥ 意見、苦情、要望等への対応や問題解決に向けた体制が構築されていたか。	3	アンケートを用いて利用者から意見や要望を募り、優先順位をつけて対応可能なものから順次対応した。	3	職員間での情報共有を行い、改善を図っていた。 利用者からの意見等について、必要性の高いものについて優先順位をつけ、対応していた。
⑦ 職員間において情報共有が頻繁に行われる体制が構築されていたか。	3	月一回の月例会議の実施。 その他、適宜情報共有を図った。	3	月一回の主幹会議の実施。 その他、適宜職員間での情報共有を行っていた。
⑧ 職員の資質向上に向けた取組みが行われていたか。	3	各種研修等に出席し、職員の資質向上に努めた。	3	計画を立て、適切に研修を行っていた。
⑨ 創意工夫による事業を立案し、計画的かつ適切に実施できたか。	4	事業計画に基づき、適切に自主事業を実施した。	3	事業計画に基づき自主事業を実施していた。
⑩ 利用者の利便性向上に向けた取組みが行われていたか。	3	会館のバリアフリー設備維持に努めた。 利用者に対するワンストップ対応に努めた。	4	利用者から意見を聴取し、利便性向上に向けて取り組んでいる。
⑪ 広報、PR等について十分な取組みが行われていたか。	4	社協だより、ホームページ、SNS（Facebook、LINE）等を用いて施設及び各種事業の周知を行った。	4	施設紹介動画の公開など、広報、PR等取り組まれていた。

指定管理者評価表

⑫	利用者アンケートを実施したか。	3	実施した。	3	利用者アンケートが実施されていた。
⑬	利用者の意見を反映させる取組みがなされたか。	3	以下、アンケート自由記入欄に記載のあった要望と対応 実現可能な要望 ・プールでの運動後、血圧と体重を測りたい・・・訓練室に血圧計と体重計を設置 ・第3研修室卓球を行う際に眩しい・・・カーテンを設置	3	アンケートに記載された要望について、適切に対応されていた。
⑭	(複数の施設を管理している場合) 施設間及び市の施設所管課等と密に連絡を取っていたか。	3	担当課である地域共生社会推進課と適宜連絡を取り合った。	3	適宜連絡調整を行っていた。
		44	2次評価者合計	46	

3 平等、安全対策への取組み

評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価		2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など	評価点	評価の理由
① 関係法令（地方自治法、労働関係法令、条例等）が遵守されていたか。	3	遵守した。 施設の開館時間や利用料金の変更件数0件 労働関係法令に基づき職員の勤怠管理を実施	3	遵守されていた。 施設の開館時間や利用料金の変更件数0件
② 対応する職員によってサービスの質に差が生じていなかったか。	3	適切に対応した。 適宜、研修を行い職員教育に努めた。	3	研修により知識の向上を図り、対応する職員によってサービスに差がでないよう努めていた。
③ 個人情報の保護について職員が理解し、さらにその取組みがなされていたか。	3	個人情報保護規程に則り、適切に管理した。	3	個人情報の取り扱いについて適正に行われていた。
④ 施設の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	3	適切に実施した。 修繕不備による事故発生件数 0件	3	適切に実施されていた。 修繕不備による事故発生件数 0件
⑤ 防犯、防災対策は適切にされているか。	3	・施設・設備安全点検の実施 ・職員、使用管理人による巡回点検の実施（開館時） ・防犯センサーによる機械警備の実施（閉館時） ・警備会社による巡回点検（夜間） ・防犯カメラによる館内各所録画（常時）※R6年度修繕	3	防災、防犯対策が適切にされていた。
⑥ 利用者が平等に利用できる取組みがなされていたか。	3	適切に取り組んだ。 介護予防教室など、定員を設けて参加者を募る事業については抽選を用いるなど、市民が公平に利用できるよう努めた。	3	全ての利用者に公平かつ中立に対応していた。
⑦ 事故または災害発生時の対応体制が構築されていたか。	3	・防火管理者の設置 ・消防計画の作成 ・消火・通報及び避難の訓練の実施 ・消防用設備の点検及び整備 ・避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理並びに収容人員の管理	4	事故または災害発生時の対応体制が構築されていた。
⑧ 感染症対策が適切に講じられているか。	3	出入口に手指消毒液を設置するなど、対応に努めた。	3	施設の状況に応じた感染症対策が適切に講じられていた。
⑨ 地域や関係団体等との連携が図られていたか。	3	・市内ボランティア及び地域安心ふれあい事業（いきいき・元気サポーター）の活動拠点として施設を活用した。 ・利用者と合同で消防訓練を実施した。	4	地域や関係団体等との連携が図られていた。
		27	2次評価者合計	29

指定管理者評価表

4 効率性向上、改善に向けた取り組み					
評価項目		1次評価者（指定管理者）による評価			2次評価者（施設所管課）による評価
		評価点	評価の理由/実績など		評価点
①	問題点の把握に努めていたか。	3	把握に努めた。 ・ホームページでの問い合わせページの設定。 ・利用者アンケート実施。 ・各種教室やイベント等実施後にアンケートを実施。		3
②	新たな取り組みへの提案、改善意欲が見られていたか。	3	アンケートを用いて利用者から意見や要望を募り、優先順位をつけて対応可能なものから順次対応した。		3
③	収入を増加するための具体的な取り組みが行われたか。	3	社協だよりを通じて会館のPRを行うなど、利用増進に努めた。 会館利用人数 R7…45,025人（R6…41,043人） 会館利用料収入 R7…162,600円（R6…146,450円） ※使用料金は、市の収入としており、収支計画の項目に含まれていない。		4
④	経費の効率的・効果的な執行がなされたか。	3	燃料費が大幅に高騰したが、節電など経費削減に努めた。 ・水道光熱費 R7…8,821,296円（R6…8,747,815円） ・燃料費 R7…10,105,920円（R6…10,563,103円）		3
⑤	清掃、警備、保守点検等の再委託業務がある場合、それらが適正な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	3	清掃、警備、保守点検について委託業務を行い、適切に実施されているかを監督した。		4
⑥	環境に配慮した取り組みがなされていたか。	3	太陽熱温水システムでつくられた温水を、館内の給湯及び温水プールで活用し、燃料消費を抑えた。		4
		18	2次評価者合計		21

II 結果、成果評価

原則として、指定管理期間の初年度に設定した項目は変更できないものとします。

関連する 評価項目	評価する 分野	指標名	1次評価者（指定管理者）による評価					2次評価者（施設所管課）による評価			
			評価点	目標値/実績/増減の理由など					評価点	評価の理由	
				R5	R6	R7	R8	R9			
2－④ 2－⑥ 2－⑧ 2－⑩ 2－⑫	利用者満足 度の向上	アンケート結 果で「満足し ている」と答 えた人の割合	3	目標	90.0%	90.0%	90.0%	95.0%	95.0%	5	目標を上回る満足度となった。
				実績	83.5%	82.1%	95.1%				
				理由	概ね、目標に近い満足度を得たため。						
2－⑨ 2－⑩ 2－⑬	利用者の 増加	施設利用者 数	4	目標	38,700	40,000	40,000	46,000	46,000	5	目標を上回る利用者数となった。
				実績	39,094	41,043	45,025				
				理由	社協だよりを通じて会館のPRを行うなど、利用増進に努めた。						
1－① 1－③ 3－③ 3－④ 3－⑤ 3－⑦ 3－⑧	事故防止の 徹底	事故発生件 数	4	目標	0	0	0	0	0	4	事故発生防止に努めた結果、事故がなかった。
				実績	0	0	0				
				理由	施設保守点検の実施及び館内巡回による危険箇所、要改修箇所の早期発見に努めるなど、高齢者・障害者が安心して施設を利用できるよう、管理・運営を行ったため。						
			11	2次評価者合計					14		

指定管理者評価表

2次評価者からの指導事項		イベントの開催や広報活動も積極的に行われており、施設の利用者数及び満足度は向上している。概ね適正に管理されており、引き続き、利用者満足度を向上させるとともに、安心安全な施設運営の継続をお願いしたい。			
1次評価者の総合評価		2次評価者の総合評価		100点換算	総合評価
合計点	112	合計点	122	▶	67.8
満点	180	満点	180		
					B

I プロセス評価

仕様書や提案 （業務計画）の 内容に照らし合 わせて	特に優れていると認められる	5点
	優れていると認められる	4点
	適正であると認められる	3点
	努力が必要と認められる	2点
	改善すべき点が認められる	1点

II 結果・成果評価

各年度の目標数値 を基準として	達成度100%以上	5点
	達成度90%以上100%未満	4点
	達成度70%以上90%未満	3点
	達成度50%以上70%未満	2点
	達成度50%未満	1点

※指標がネガティブなもの（例：「事故発生件数」、「苦情発生件数」など）は達成度が低いほど点数が高くなります。

総合評価基準

100点換算で80点以上	A
100点換算で60点以上80点未満	B
100点換算で60点未満	C